

絶望の淵にある人に、専門のケアを

つながる支援、広がる安心

あなたの病院から、災害医療の第一歩を
いざという時のための学びを始めませんか？

地域と共に、災害に強い病院へ

被災地の精神医療を守る

新隊員を
募集します

 DPAT
Disaster Psychiatric Assistance Team

令和8年度 宮城県
DPAT
研修会

災害時に被災者の心のケア等を担うDPATの活動を講義と演習を通じて、被災地での精神保健活動や被災時における受援体制のスキルを身につけます

日時

令和8年 **8**月 **7**日（金）9:20～17:00
※事前研修あり（eラーニング）

対象

県内の精神科医療機関職員（医師、看護師、事務等）
※チーム参加のほか個人単位・過去受講者の参加も可

会場

みやぎハートフルセンター
（仙台市青葉区上杉3丁目3-1）

申込

6月25日（木）までに
別添の受講申込書を提出してください



～詳しくは「研修会実施要領」をご覧ください～
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seihosui/miyagidpat.html>

お問い合わせ：宮城県保健福祉部精神保健推進室 TEL:022-211-2518
メール:seishin-se@pref.miyagi.lg.jp

DPATとは？

- ▶ 大規模災害時に被災地に入り、精神科医、看護師、業務調整員などで構成され、被災者の心のケアと精神保健医療の支援を行う専門チームです。

本研修で養成する宮城DPAT（都道府県DPAT）の役割は？

- ▶ 県内外問わず発災後48時間以内に活動し、本部機能の立上や急性期の精神科医療ニーズ対応などの初期対応を行う「日本DPAT（いわゆる先遣隊）」に対し、本研修で養成する「都道府県DPAT（いわゆる後続隊）」は、主に県内で大規模災害が発生したときに、日本DPATから引き継いだ体制で、避難所等での心のケアや被災精神医療機関への支援等を行うもので、長期かつ安定的な活動が求められます。

研修の内容（予定）は？

- ▶ 次のプログラムを予定しています。

事前研修（eラーニング）	対面研修
<ul style="list-style-type: none">▶ 宮城DPATの体制▶ 宮城県の防災体制▶ 宮城県の平時の地域精神保健活動▶ 災害精神医療概論▶ 災害医療概論▶ DPAT活動における感染症対策▶ 日赤こころのケアチームの活動▶ DHEATの活動	<ul style="list-style-type: none">▶ DPATの役割▶ ロジスティックス概論及び演習▶ 災害診療記録及びJSPEED等▶ 本部活動演習▶ 地域支援演習 各演習時においては、日本DPAT隊員によるサポートのもと学んでいただきます。

～令和7年度対面研修の様子～



研修受講後は？

- ▶ 受講終了後、所属医療機関に主に次の流れで隊員登録を依頼します。
 - ① 県は、研修修了者の所属機関に登録者台帳への登録申請を依頼します
 - ② 登録希望者は、所属機関の長に登録申請書を提出いただきます
 - ③ 所属機関は、登録申請書を県に提出いただきます
 - ④ 県は、登録者を登録者台帳に登載し、医療機関と派遣協定を締結します
- ▶ 隊員登録後は、技能維持の観点から定期的に本研修に参加いただくほか、県主催の災害医療訓練などに参加いただけます。
- ▶ 災害発生時においては、病院の体制や状況など踏まえ、派遣可否を調整します。協定締結・登録がなされたからといって、義務的に派遣いただくわけではありません。

まずは知ることから。
DPATの活動に触れてみませんか？